

科目ナンバー	C4304	要件	教職必修	授業形態	演習	対象学生	I A B
授業科目	体育の基礎Ⅱ						
実施期	後期	単位数	1単位	授業担当者	林 悠子		
【科目の概要】							
「体育の基礎Ⅰ」で身に付けた基礎的な知識を広げ、ダンス創作や身体表現を行うことで、子どもに必要な動きや可能な動きを体験する。手遊びやレクリエーションの実践やグループでのダンス創作を行い、それらを発表・鑑賞し合うことで新たな動きや互いの表現を学ぶ。							
【この科目を通して獲得を目指す力】							【関連DP】
ア	ダンス創作や表現活動の楽しさを学び、乳幼児の動きやダンスの基礎を理解している。						1-d
イ	さまざまなダンスの基礎を理解し、乳幼児の発育発達に応じたダンスの創作ができる。						2-d
ウ	手遊びの指導や、自分たちで創作したダンスを発表することができる。						4-d
【授業の内容】							
【授業の内容】				【実施日】	【授業時間外学習の内容】		
1	講義に関する注意説明。保育幼児教育におけるダンスや表現について			月 日	シラバスをよく読んでおくこと。		
2	既存の体操			月 日	既存の体操曲を調べる。		
3	既存のダンス			月 日	既存のダンスを調べる。		
4	バルーン①：基本的な動き			月 日	バルーンを使った遊びやダンスを考える。 (0.5時間)		
5	バルーン②：バルーン遊びの創作			月 日			
6	作品創作の方法			月 日	創作方法を復習する。(1時間)		
7	作品創作① (全体)			月 日			
8	作品創作② (全体) (獲得を目指す力の確認)			月 日			
9	作品創作① (グループ設定、曲の選定)			月 日	ふだんから幼児向けの音楽を聴くことに努める。		
10	作品創作② (グループ)：動きづくり			月 日	選んだ曲を聴き、動きをイメージする。		
11	作品創作③ (グループ)：練習			月 日	創作したダンスを覚える。 (1時間)		
12	作品創作④ (グループ)：練習			月 日			
13	作品創作⑤ (グループ)：仕上げ			月 日	創作したダンスの完成度を高める。 (1時間)		
14	発表 (ビデオ撮影)			月 日	自身の作品と発表を振り返る。		
15	作品鑑賞と評価・講義のまとめとフィードバック			月 日	講義全体を振り返る。		
16				月 日			
【教科書・テキスト】 参考資料を適宜配付する。				【成績評価の方法】 平常点[ミニ発表およびレポート・授業態度]：30% 発表課題 [内容：30% レポート：40%]			
【参考書・教材】 「子どもとあそぶ動きの表現」 藤善瑞子・川村晴子・三木孝子・小林光子 共著 (不昧堂)							
【履修要件及び履修上の注意事項】 ジャージ等動きやすい服装で受講すること (ジーンズやスカート等、普段着での受講は原則として認めない)。							
【履修上の遵守事項】 当該授業受講にあたり、15分以上遅刻をした学生は欠席扱いとする。着替えは更衣室で行い、私物はロッカーで管理すること (エクササイズルームには筆記用具等必要な物のみ持ち込むこと)。遵守事項については平常点に加味する。							
【連絡先・オフィスアワー】 連絡先：アリーナ2階 A3 林 研究室 オフィスアワー：							

＜チェックシート＞					
指標		基準	レベル1	レベル2	レベル3
ア	乳幼児の動きや発達に関するリズム遊びの役割についての基礎的理解	乳幼児の動きや発達におけるダンスやリズム遊びの役割について理解している。	乳幼児の動きや発達におけるダンスやリズム遊びの役割を理解し、実践ができる。	乳幼児の動きや発達におけるダンスやリズム遊びの役割を理解し、適切なダンスの提供ができる。	
イ	様々なダンスの基礎的理解とダンスの創作力	乳幼児の発育発達に応じたさまざまなダンスを知っている。	乳幼児の発育発達に応じて、適切な音楽やダンスを選ぶことができる。	乳幼児の発育発達に応じて、オリジナルのダンスを創作できる。	
ウ	手遊びの指導や、自分たちで創作したダンスの発表	大人、または乳幼児に向けた表現法や指導法について知っている。	大人、または乳幼児に向けた表現法や指導法の実践ができる。	大人、または乳幼児に向けた適切な表現法や指導法を用いて堂々とわかりやすく実践ができる。	
この科目を通して学んだこと、獲得できた力、できなかった課題等					